

東北地方 1 か月予報

(1 月 1 7 日から 2 月 1 6 日までの天候見通し)

平成 1 6 年 1 月 1 6 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

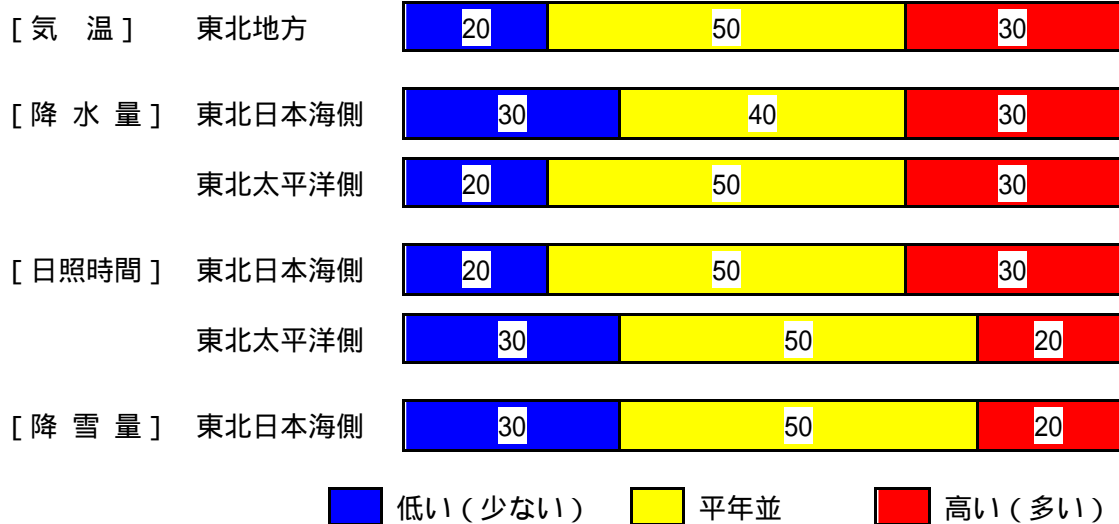
向こう 1 か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置が続くでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

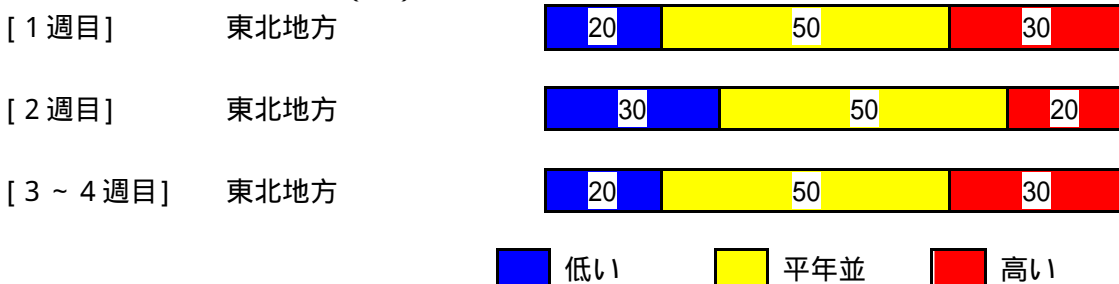
向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、東北日本海側の降雪量は共に平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目、2 週目、3 ~ 4 週目共に平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 月 1 7 日 (土) ~ 2 月 1 6 日 (月)
1 週目 : 1 月 1 7 日 (土) ~ 1 月 2 3 日 (金)
2 週目 : 1 月 2 4 日 (土) ~ 1 月 3 0 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 月 3 1 日 (土) ~ 2 月 1 3 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 月 2 3 日
3 か月予報 : 1 月 2 2 日 (木) 1 4 時 0 0 分
暖候期予報 : 2 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	0.4	51.0	156.1	30	0.4	0.1	0.4
新庄	-1.5	170.9	50.3		-1.6	-1.7	-1.4
若松	-0.9	75.0	95.1	134	-1.0	-1.1	-0.9
深浦	-0.8	85.8	40.1	83	-0.7	-1.1	-0.8
青森	-1.7	143.1	67.0	282	-1.7	-2.0	-1.7
むつ	-2.0	92.1	87.6		-1.8	-2.2	-2.1
八戸	-1.5	55.8	140.7	54	-1.4	-1.8	-1.5
秋田	-0.4	103.1	56.9	101	-0.4	-0.7	-0.3
盛岡	-2.3	52.6	136.1	62	-2.4	-2.6	-2.2
宮古	-0.2	70.6	169.2	43	-0.1	-0.4	-0.2
酒田	1.0	135.7	50.1	83	1.1	0.8	1.0
山形	-0.8	74.1	98.7	115	-0.8	-1.0	-0.7
仙台	1.2	39.9	163.3	30	1.2	0.9	1.2
石巻	0.3	38.2	178.4		0.3	0.0	0.4
福島	1.2	46.0	152.2	46	1.2	1.0	1.3
白河	-0.1	31.2	170.0		-0.1	-0.3	0.0
小名浜	3.3	52.6	196.6	0	3.3	3.1	3.3

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.8	75～ 111	95～ 106	81～ 106
東北日本海側	-0.4～+0.7	88～ 105	91～ 111	83～ 113
東北太平洋側	-0.4～+0.8	64～ 112	97～ 104	73～ 108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.9	-0.7～+0.9	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.9	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.7～+1.0	-0.5～+0.8

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 1 月 16 日 仙台管区気象台

1．実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(1 月 17 日～2 月 16 日)：

冬型の気圧配置が続くでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目(1 月 17 日～1 月 23 日)：

期間の初めと終わりは、気圧の谷の影響で天気にくずれる所があるでしょう。その他の日は、東北日本海側では寒気の影響で曇りや雪の日が多いですが、東北太平洋側ではおおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(1 月 24 日～1 月 30 日)：

冬型の気圧配置が続き一時強まるでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(1 月 31 日～2 月 13 日)：

冬型の気圧配置が続くでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

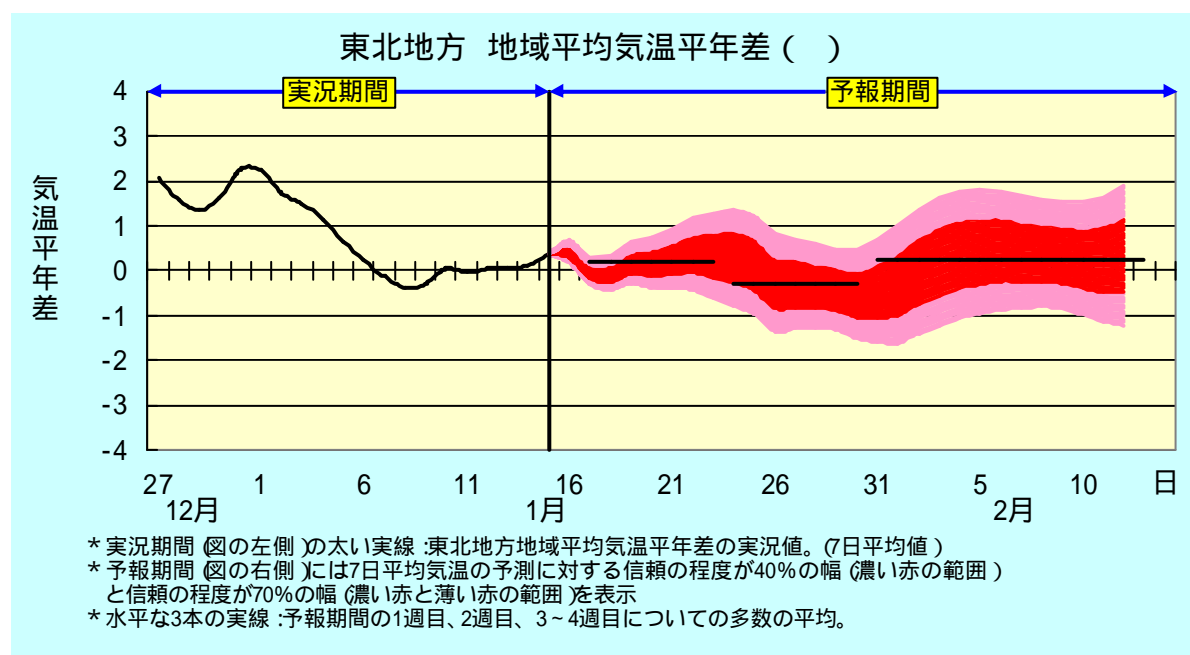
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	5.2 日	1.2 日	1.3 日	2.7 日
東北太平洋側	18.5 日	4.4 日	4.8 日	9.3 日

2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目ともに「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

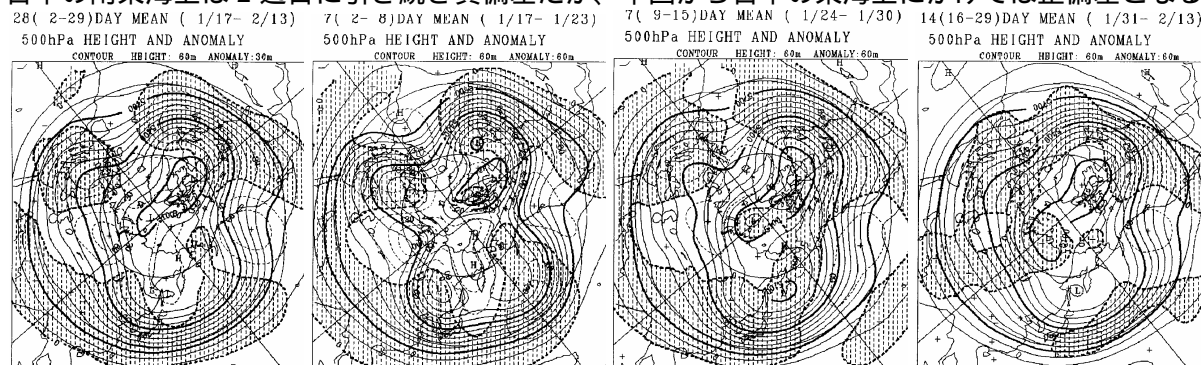


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が広く正偏差となり寒気放出現。極東中緯度は広く負偏差に覆われ、寒気が南下しやすい傾向となる。一方、オホーツク海に中心を持つ正偏差が北海道まで広がる。

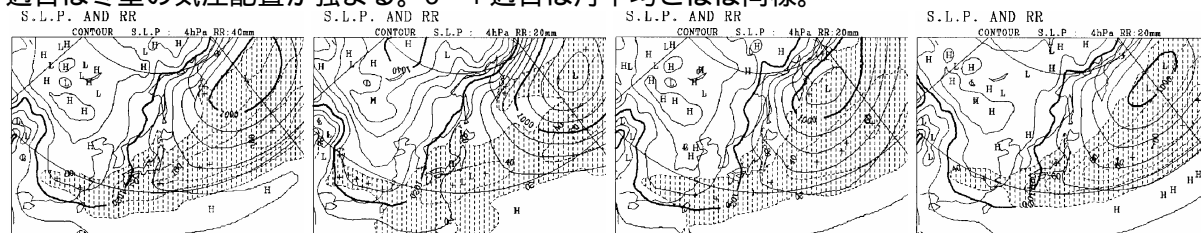
週別に見ると、1 週目は寒冷低気圧がバイカルの東に予想される。東日本以西は負偏差だが、東北地方は弱い正偏差。2 週目は日本付近は気圧の谷となり広く負偏差に覆われる。3～4 週目は日本の南東海上は 2 週目に引き続き負偏差だが、中国から日本の東海上にかけては正偏差となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、冬型の気圧配置。降水域は、日本海側や日本の南海上を中心に日本付近に広くかかる予想。

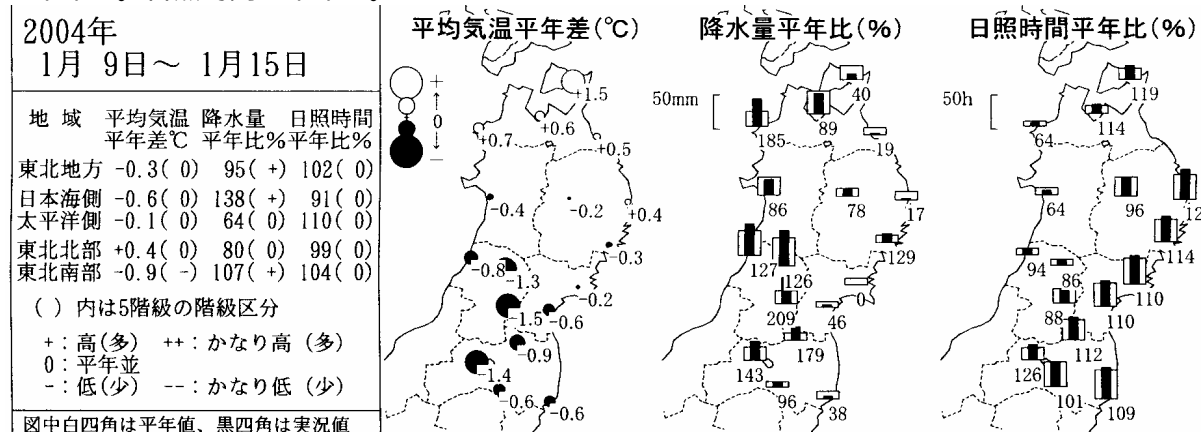
週別に見ると、1 週目は冬型の気圧配置はやや緩む。日本の南海上にも降水域が予想される。2 週目は冬型の気圧配置が強まる。3～4 週目は月平均とほぼ同様。



4．最近 1 週間（1 月 9 日～1 月 15 日）の天候の経過

10日に東北地方を寒冷前線が通過し、東北日本海側を中心に雨または雪となった。前線の通過後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪、東北太平洋側では概ね晴れた。12日は高気圧に覆われ東北地方は概ね晴れたが、13日の低気圧の通過後は冬型の気圧配置が強まって荒れた天気となり、東北太平洋側でも内陸を中心に雪となる所があった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）